

在学生の皆さんへ

「2025 年度 学生生活実態調査の集計結果とフィードバック」

近畿大学 学生部

まえがき

昨年 9 月に実施しました「学生生活実態調査」へのご協力、ありがとうございました。近畿大学のすべてのキャンパスから、合計 10,743 名もの学生の皆さんに回答してもらうことができました。回答内容にはすべて目を通し、皆さんにとって過ごしやすい、さらに勉学に励める近畿大学となるよう、現在も様々な対応を検討しています。

今回も、その結果を広く学生の皆さんと共有するとともに、代表的な意見に対してのフィードバックを記載しています。どのような声が多かったのか、これから近畿大学がどのように変わろうとしているのかなど、ぜひ注目してもらいたと思います。もちろん、ここで取り上げた以外の項目についても、検討を行っています。

今後も、大学として様々な形で皆さんの声を広く取り入れていきたいと考えています。学生の皆さんからの積極的な意見・協力を期待しています。

<調査の概要>

1.調査票の作成

学生部において、2023年の調査票をもとに、2025年版の内容を検討し、各学部学生センターとの調整を経て、調査票を作成した。

2.調査の期間

2025（令和7）年9月12日(金)～10月19日(日)

3.調査対象

すべてのキャンパスに在学の全学部学生および短期大学生

4.調査の方法

学生ポータルシステム（近大ユニバ）のアンケート機能を使って回答

5.調査の内容

- ◇あなた自身、◇マナー、◇学習・クラブ活動、◇アルバイトや支出、◇学生生活、◇ボランティア活動、
- ◇学生相談、◇大学に対する評価、◇自由記述

<学生生活実態調査の集計結果>

○全キャンパスから、約3割の学生の皆さんに回答してもらえました！

- すべてのキャンパス合計で1万名を超える学生の皆さんに協力してもらえた結果、回答率は3割を超えました。これは、前回2023年に実施したこの調査の回収率を上回るものであり、多くの学生の皆さんの期待の声であると受け止めています。忙しい中ご協力いただき、ありがとうございます。
- 前回の調査に引き続き、この調査は近畿大学のすべてのキャンパスの学生の皆さんの声が集まるものとなっています。それぞれのキャンパスの特徴を踏まえながら、どのキャンパスに通っていても共通して快適な学生生活を送ってもらえるよう、これからの大学改善のための貴重な参考資料とさせていただきます。
- これまでの調査結果との比較により、皆さんからのリクエストが大きく増えた項目については、どのキャンパスでもしっかりと検討し、改善を図っていく予定です。
- 学部ごとに回収率は異なりますが、それぞれの学部の教職員で結果は共有しています。次回の調査の際にも、ぜひ積極的に協力してください。

(1) 調査方法と実施時期

調査方法	学内で告知し、ユニバーサルパスポート上で回答
実査時期	2025年9月12日(金)～10月19日(日)

(2) 回収サンプル数

調査対象	全学部全学年の学生
回収数	10,743名（詳細は下表参照）

	法	経済	経営	理工	建築	薬	文芸	総合社会	国際	情報	短期大	東大阪計
全学生数	2,160	3,239	5,857	4,404	1,214	1,087	2,232	2,196	2,157	1,387	174	26,107
回答者数	1,323	1,267	1,467	425	171	631	330	199	138	597	114	6,662
回収率	61.3%	39.1%	25.0%	9.7%	14.1%	58.0%	14.8%	9.1%	6.4%	43.0%	65.5%	25.5%

	農	医	生物理工	工	産業理工	総合計
全学生数	2,910	689	1,960	2,298	1,763	35,727
回答者数	1,276	76	1,056	1,179	494	10,743
回収率	43.8%	11.0%	53.9%	51.3%	28.0%	30.1%

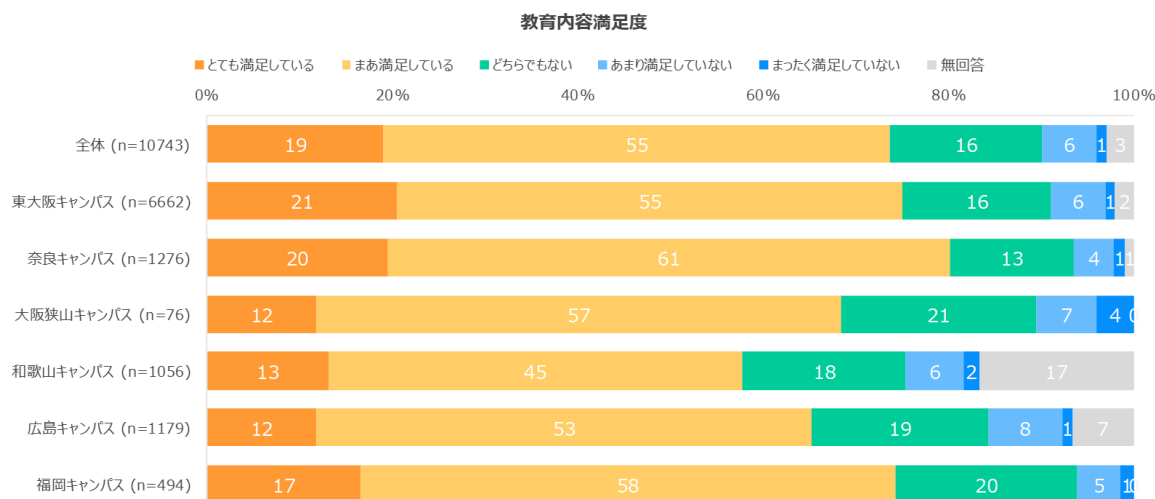
<前回調査からの改善点>

1. 空調機器の更新、トイレの改修等、年次計画的に実行されています。
2. コロナ禍が過ぎ去り、課外活動への参加率が高くなっています。
活動を再開する団体や新たな団体も生まれています。
3. 給付型奨学金（世耕弘一奨学金）が拡充されました。
4. 研究棟の改修、空調設備の更新、テレキューブの設置【奈良キャンパス】
5. 教室の改修・トイレの改修【和歌山キャンパス】
6. 食堂でのモバイルオーダーシステムをリニューアル【広島キャンパス】
7. 女子トイレの一部改修、女子専用ラウンジの設置【福岡キャンパス】

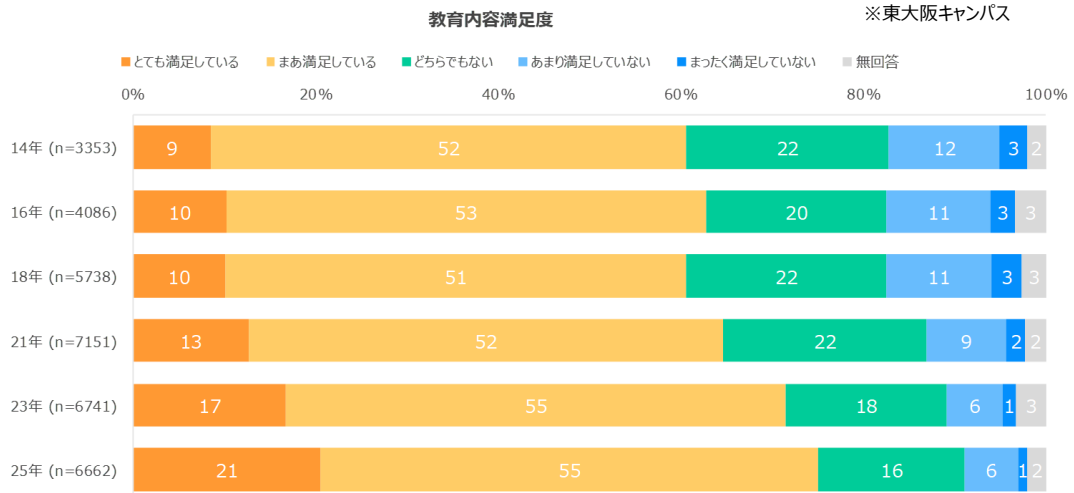
<今回の調査結果の特徴とフィードバック>

○教育内容への満足度は向上する一方で、学習時間が減少しています。

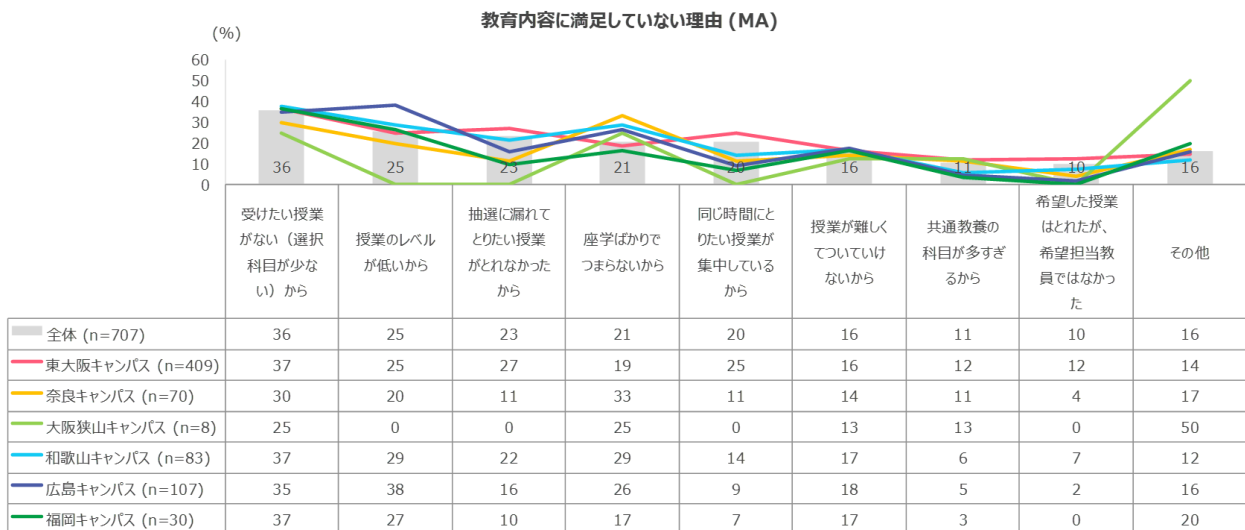
- 今回の調査でも、本学の教育内容について、多くの皆さんから「満足している」という声をもらえたことは、大変うれしく思っています。



- また、第1回調査（2014年実施）から比較可能な東大阪キャンパスでの回答状況を見ると、その満足度が年々向上し、今回の調査では過去最高の満足度になっていることがわかりました。



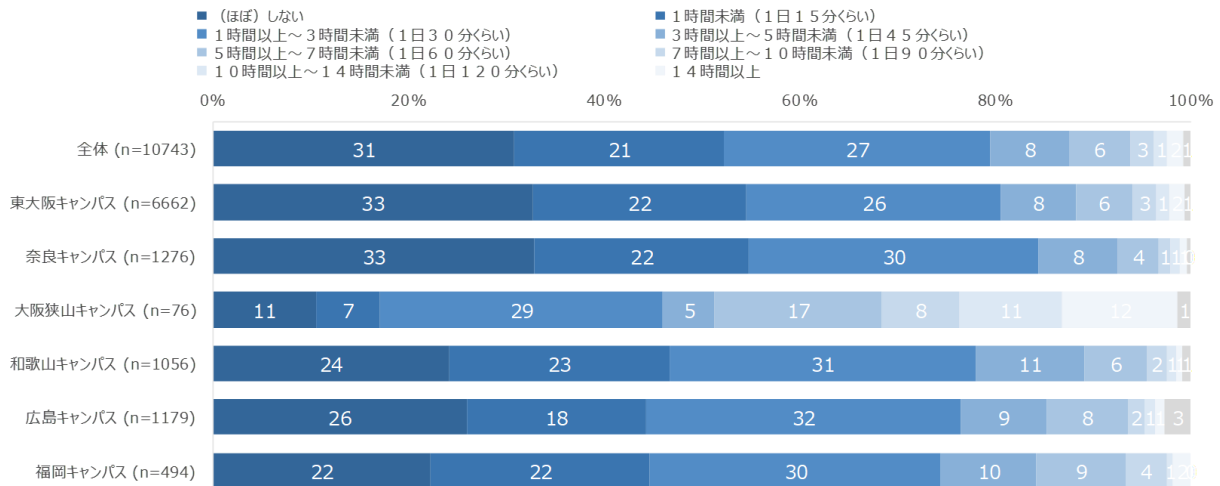
- しかし、近畿大学としては、その声に満足することなく、これからも皆さんのさらなる成長につながるような教育を提供できるよう、改善を重ねていきます。その際、キャンパスごとの特徴もしっかり確認していきます。
- 例えば、教育内容に対する「満足していない理由」では、キャンパスごとの特徴があらわれています。「座学ばかりでつまらない」という声は、奈良キャンパス、和歌山キャンパス、広島キャンパスから多く聞くことができました。一方で、東大阪キャンパスでは「受きたい授業がない」という声をもっとも多いのですが、それに次いで「抽選に漏れてとりたい授業がとれなかったから」が多くなっています。フリーアンサーに書いてもらった具体的な改善点なども参考にしながら、どのようなことをすれば皆さんの教育内容に対する満足度をもっと高まるのか、それぞれのキャンパスの教育内容や特徴とあわせて、検討を進めていきます。



※ベース：大学の教育内容に満足していない / 全体の降順で並べ替え

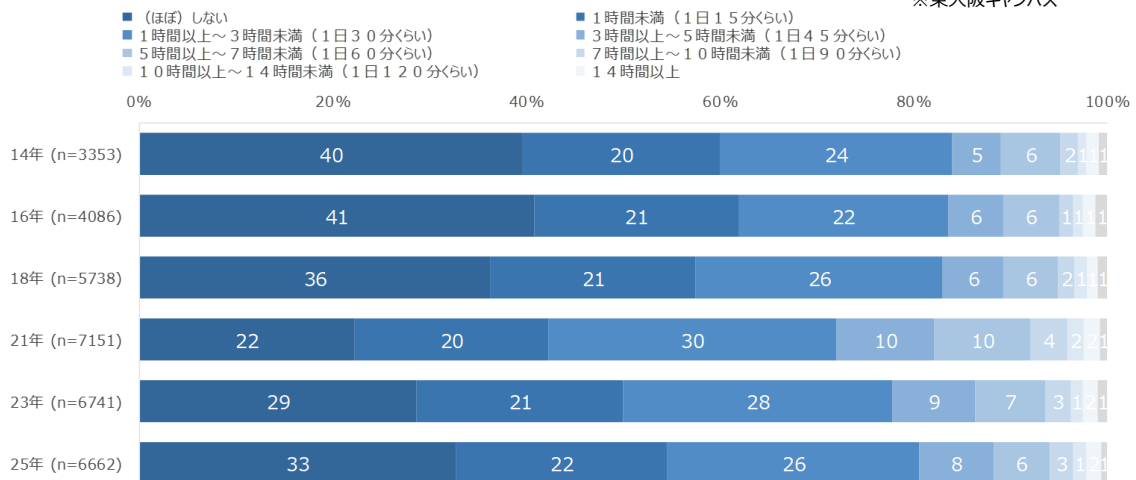
➤ 一方で、皆さんの学習時間については、もっと確保してくれることを期待したいです。今回の調査では、大阪狭山キャンパスを除くすべてのキャンパスで、授業の予習や復習を「ほぼしない」と回答した方がおおむね3割前後、「1時間未満（1日15分ぐらい）」と回答した方とあわせるとほぼ半数になるという結果でした。また、第1回調査（2014年実施）と比較可能な東大阪キャンパスの回答状況を見ると、授業の予習・復習をほぼしないか、したとしてもごく短時間である方が増えているようです。近畿大学には15学部（2026年3月時点）と短期大学部があり、各学部等のWebページ（<https://www.kindai.ac.jp/academics/>）に記載されているような特色ある授業科目やカリキュラムを通して、授業・研究への興味を促しています。興味・関心を高めるために、1年生配当の授業科目の設置や授業外における研究室やゼミの紹介などの取組も、各学部で独自に行っています。授業内容の持続的な改善を目的として、授業評価アンケートや授業中のミニツツペーパー、卒業アンケートなど、本学では学生の皆さんに意見を求める機会を多く設けています。学生の皆さんの意見を取り入れ、よりよい授業を提供できるよう努めています。大学としても魅力的な授業を増やせるよう改善を進めていきますので、皆さんにも授業にしっかり取り組み、学びを深めて成長してほしいと思います。

1週間あたりの自学自習時間「授業の復習や予習」



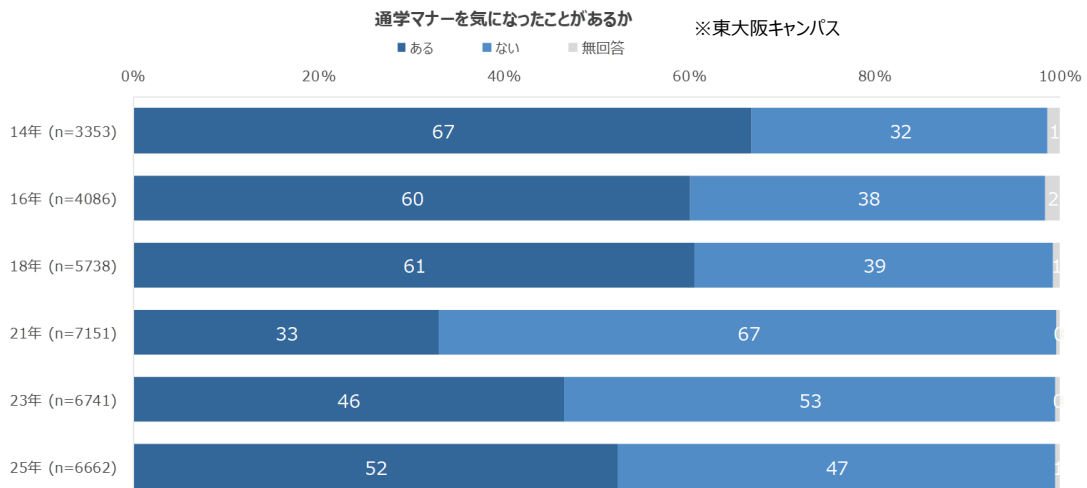
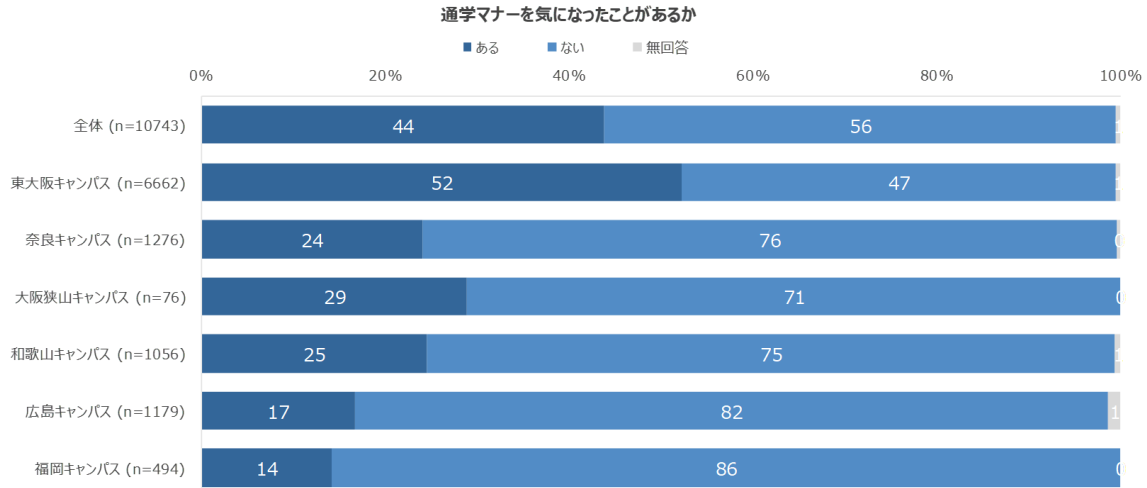
1週間あたりの自学自習時間「授業の復習や予習」

※東大阪キャンパス

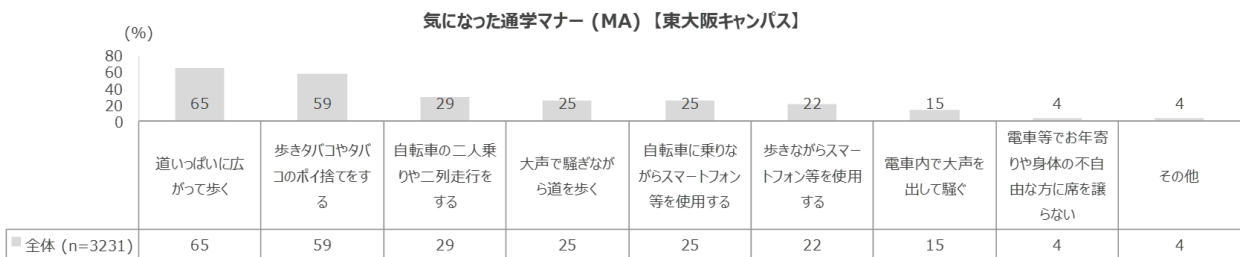


○通学マナー向上に向けて、皆さんの力を貸してください！

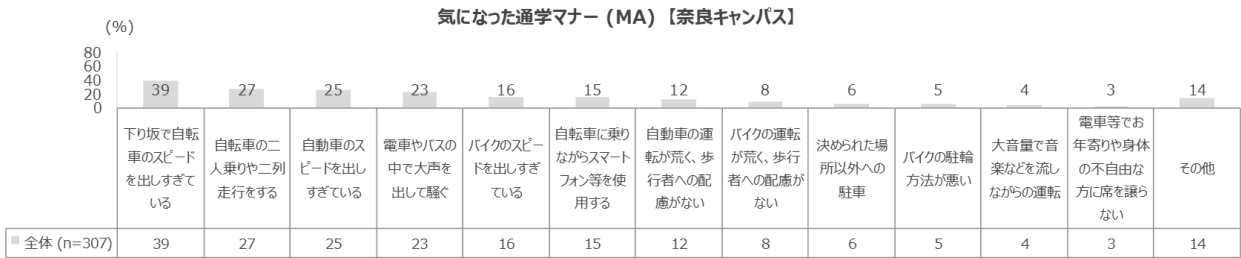
- 今回の調査では、「通学マナー」について「気になったことがある」という回答が多くなっていました。東大阪キャンパスでは半数以上となっており、他のキャンパスではそこまで多くはないものの、過去の調査と比較すると増えているといった状況です。



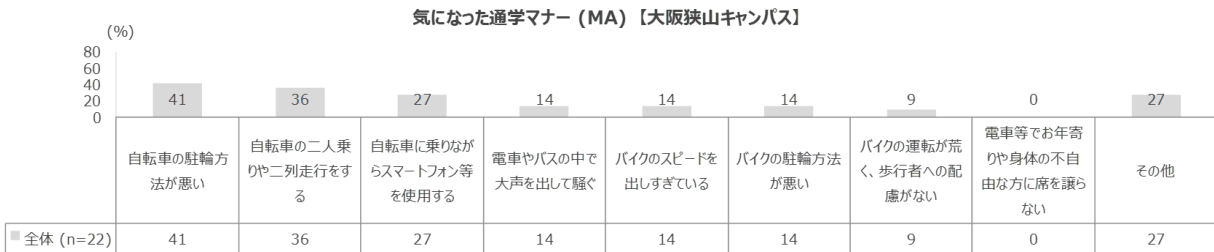
- 具体的にどんなマナーが気になったかについては、それぞれのキャンパス環境によってこととなりますが、いずれも「他の人に迷惑がかかっていること」が気になるという声が多くなっています。



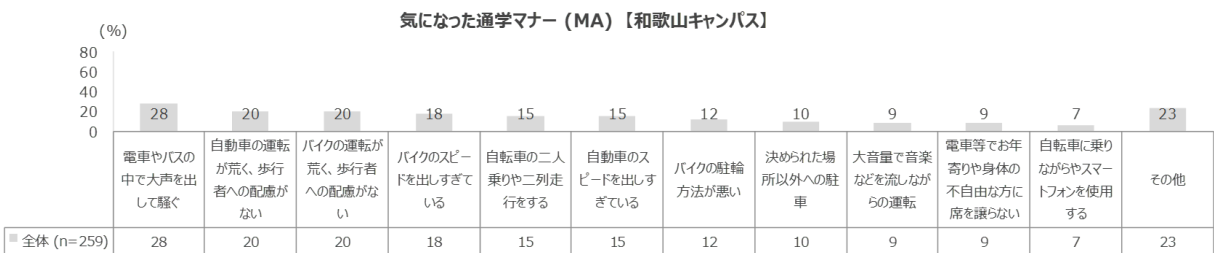
※ベース：通学マナーについて気になったことがある / 全体の降順で並べ替え



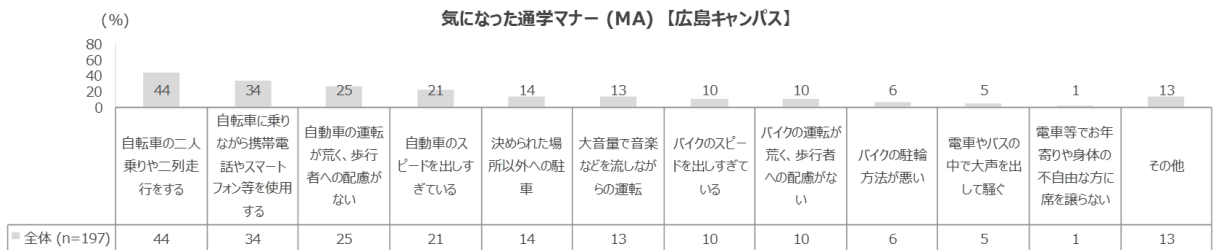
※ベース：通学マナーについて気になったことがある / 全体の降順で並べ替え



※ベース：通学マナーについて気になったことがある / 全体の降順で並べ替え



※ベース：通学マナーについて気になったことがある / 全体の降順で並べ替え



※ベース：通学マナーについて気になったことがある / 全体の降順で並べ替え



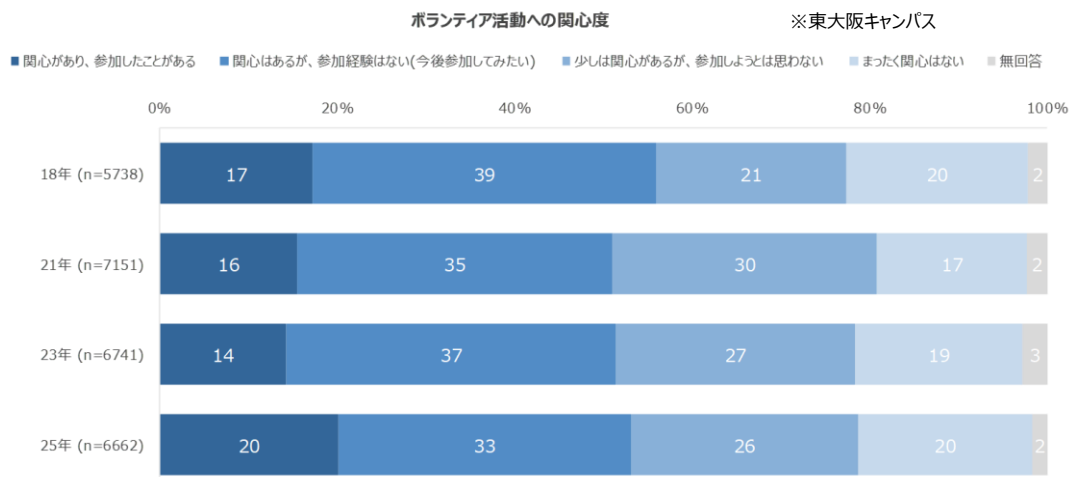
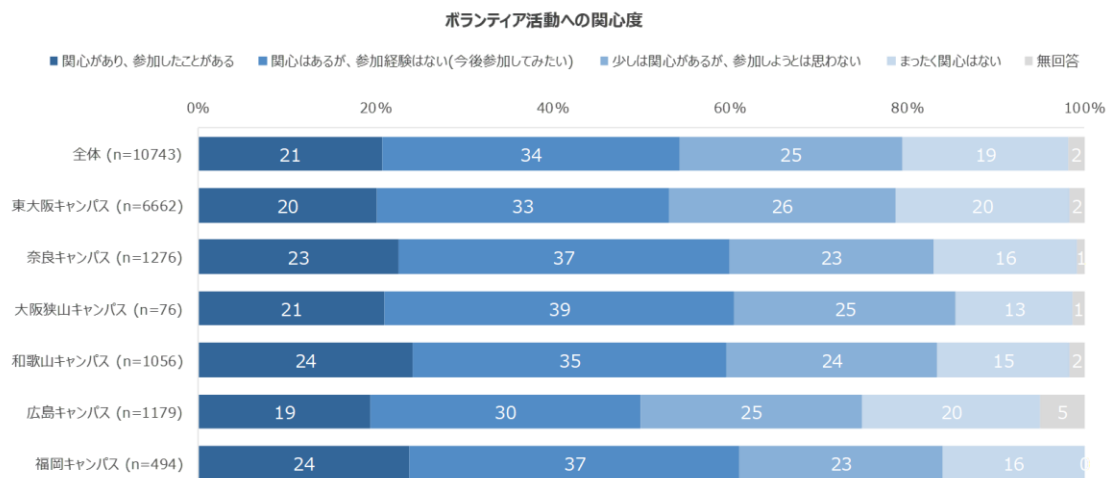
※ベース：通学マナーについて気になったことがある / 全体の降順で並べ替え

- フリーアンサーを見ても、通学マナーに関して気になったことを書いてくれる方が非常に多かったです。通学マナーだけでなく、キャンパス内での過ごし方や、授業を受ける態度などについて、他の学生に対して厳しい声が寄せられています。
- マナーは、皆さん自身の問題でもありますので、まずは、学生同士でのちょっとした声かけやアドバイスから始めてみてくれることを期待しています。それが一番効果的だと考えていますし、それぞれのキャンパスがある地域の皆さんからの理解も得られやすいと思います。

- もちろん、大学としてもマナー向上に向けた取り組みを強化していきます。例えば、東大阪キャンパスでは「マナーアップキャンペーン」として、長瀬駅、大学通り、西門でのマナーアップへの呼びかけや、大学通りを清掃する「クリーンキャンペーン」を今後も継続していきます。
- 歩きタバコやポイ捨てに関するマナーの悪さを問う声が大きくなっています。タバコを吸わない方への配慮など、喫煙者は周囲を気遣う気持ちや態度を持ってもらいたいと思います。また、大学近隣での路上喫煙やポイ捨てに関する苦情が急増しています。時代に逆行することになりますが、分煙の徹底、受動喫煙への配慮をしつつ、喫煙所の増設の検討もやむを得ない状況となっています。

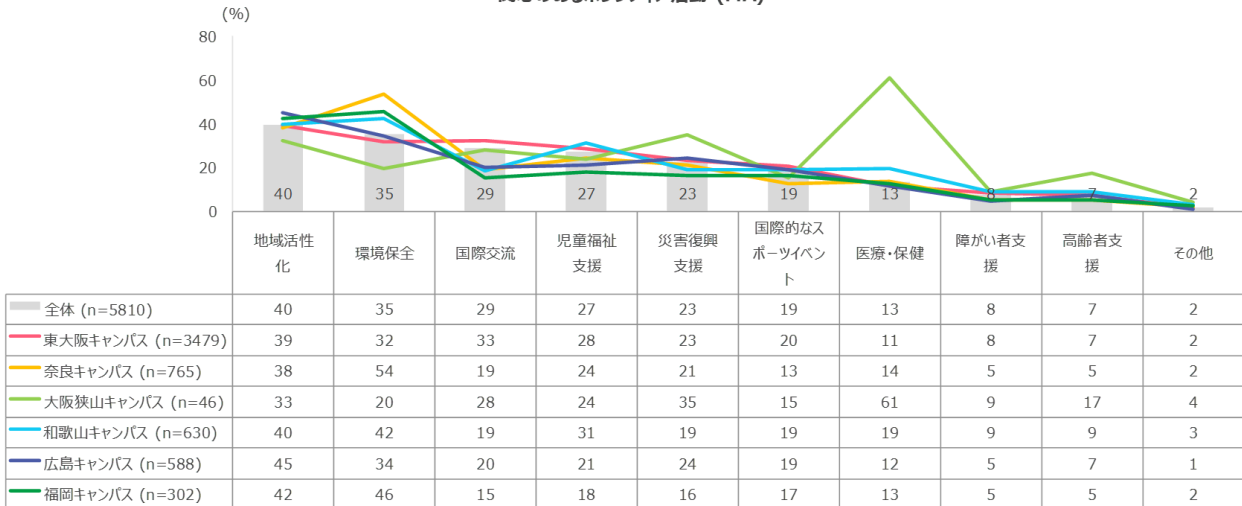
○ボランティアに参加しやすいような機会も、提供していきます

- 今回の調査で、多くの皆さんがボランティアに関心を持っていることが確認できました。また、関心を持っていてくれる方の比率も、過去の調査と比較すると高くなっています。



- さらに、今回の調査を通じて、キャンパスごとに関心のあるテーマが違うということを教えてもらいました。例えば、奈良キャンパスであれば「環境保全」、大阪狭山キャンパスであれば「医療・保健」、広島キャンパスであれば「地域活性化」といったように、それぞれのキャンパスの特徴が現れるような結果になっています。

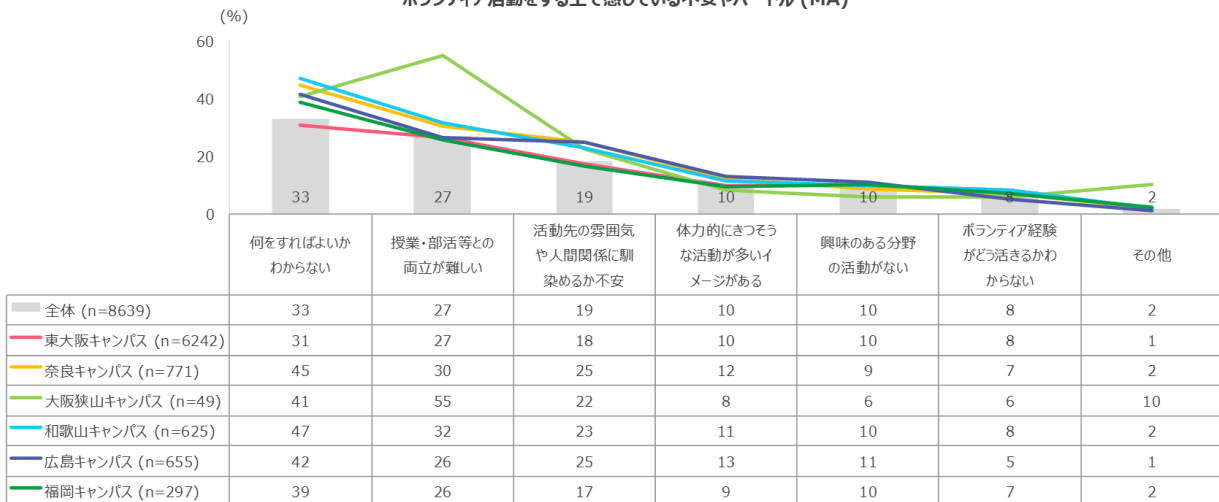
関心のあるボランティア活動 (MA)



※ベース：ボランティア活動に関心あり / 全体の降順で並べ替え

- 今後、学生部ではボランティアの機会の提供を強化していきたいと考えています。その際、今回の調査結果を生かして、皆さんの興味関心に合わせたものにできるよう、工夫していきます。
- 一方で、「ボランティア活動をする上で感じている不安やハードル」については、「何をすればよいかわからない」という声が多くなっていました。それに次ぐのは「授業・部活等との両立が難しい」となっており、皆さんの時間的な制約がハードルになっていることも理解しました。

ボランティア活動をする上で感じている不安やハードル (MA)

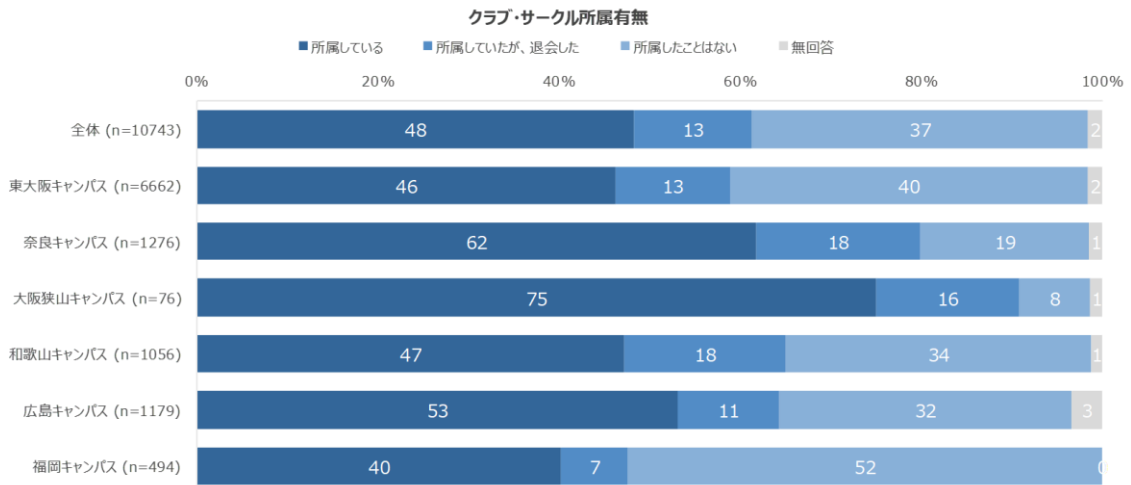


※ベース：ボランティア活動に関心があっても参加経験がない / 全体の降順で並べ替え

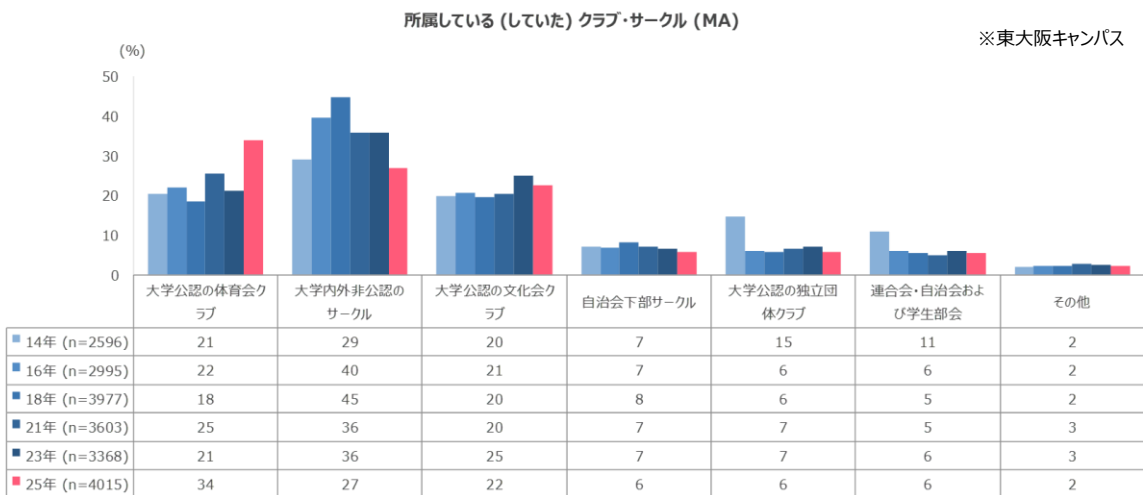
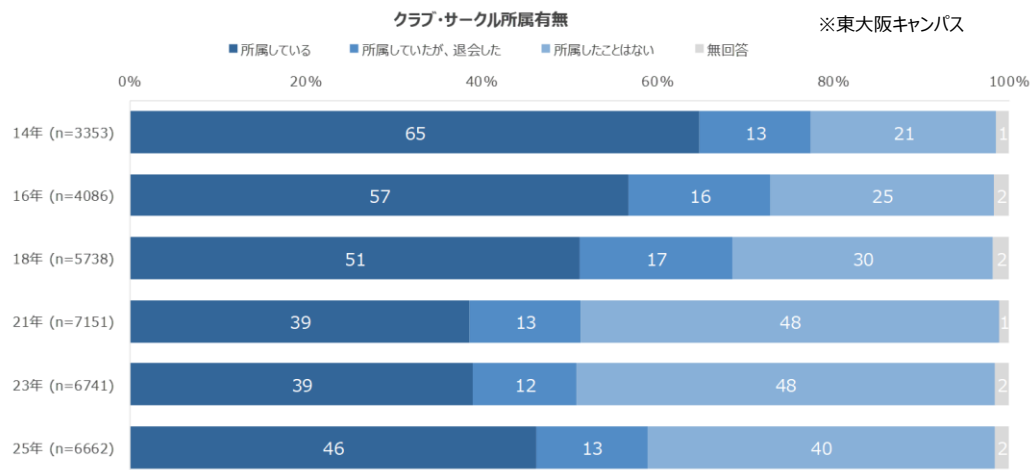
- ボランティアへの関心の高さがある一方、実際に何をすればいいかわからない、時間的な制約がある、といった意見に対して、近い将来、ボランティア情報を集約・提供、参加支援を行う体制の整備を計画しています。

○クラブ・サークルに関する相談は学生部まで！

➤ クラブ・サークルに所属しているかどうかは、キャンパスによってかなり差があるようです。



➤ また、例えば東大阪キャンパスでは、クラブやサークルに所属している人の割合の減少傾向が止まり、増加に転じています。その所属を見ると、「大学公認の体育会クラブ」への参加者が増えているようです。



※ベース：クラブ・サークルに所属している/していた / 25年度の降順で並べ替え

- 近畿大学の魅力の一つは、クラブ・サークルが充実していることです。そのクラブ・サークルに参加し、学生生活を充実させている学生の皆さんが増えていることを、大変うれしく思っています。
- しかし、もし自分に合うクラブ・サークルがうまく見つけられなかったり、新入生勧誘期間に入りそびれて悩んでいたりするようであれば、学生部にも相談に来てみてください。
- 学生部では、今後もクラブの公認の在り方や運営方法などの改善にむけたサポートを行っていきます。クラブやサークルについて改善したいことがあれば、学生部にご意見をお寄せください。

○これからも、皆さんの声を聞かせてください！

- ここに記載したこと以外にも、本当に数多くの皆さんの声を聞かせてもらうことができました。本学に満足しているという声や、教員や職員に対する励ましや感謝の声もたくさんもらえています。その反面、厳しい指摘や改善要望などももらっています。
- この調査についても、「ちゃんと内容を確認しているのか」「実際に改善されなければ意味がない」といった声がありましたので、このような形で皆さんにフィードバックをさせていただきました。さらに詳しい調査結果を見てみたいという場合は、学生部（11月ホール1階）、他キャンパスは各学生センターをお訪ねください。
- 今回の調査結果を踏まえて、学習、学生生活の両面で、学生の皆さんが充実した日々を過ごせるよう、教職員一同改善に取り組んでいくよう検討を重ねています。今後もアンケートをはじめとして、さまざまな機会や方法で学生の皆さんの声を集めていきたいと考えていますので、これからも積極的なご協力をお願いします。

以上